



港南小学校

学校だより

6月号

二十四節気・七十二候

<6月の二十四節気>

- ・6月5日 芒種
麦を納め稲を植う
- ・6月21日 夏至
夏の最中日北上の極

<6月の七十二候>

- ・蟻螂生
かまきりしょうず
→蟻螂が生まれ出る
- ・腐草為螢
くされたるくさぼたるとなる
→腐った草が蒸れ螢になる
- ・梅子黄
うめのみきばむ
→梅の実が黄ばんで熟す
- ・乃東枯
なつかれくさかる
→夏枯草が枯れる
- ・菖蒲華
あやめはなさく
→あやめの花が咲く
- ・半夏生
はんげしょうず
→鳥柄杓が生える

校長 船木 亮作

初夏の輝く日差しが子供たちを照らしています。元氣な声が校庭に溢れています。学校公開には、多数の保護者の方々にお越しいただき、子供たちを励ましの言葉をかけていただきありがとうございます。

さて、本校は児童数がとても多いですがそれとともに教職員の数もとても多い学校です。そこで常に意識していることは「チーム力」という視点です。入学式の間もそうでしたが、主事や教員は自主的に朝早くから会場準備をしたり、自分の役割を果たそうと動き回ったりしている姿が見受けられました。百名以上いる本校の教職員ですが百名がバラバラに動いていてはそれ以下の結果しか出せません。しかし、皆が同じ目的に向かって（この場合は新一年生が気持ちよく入学式を迎えられるようにしよう）力を発揮すると百以上の力となり予定していた時刻よりも早く終了することができました。

チーム力を高める

今月は久しぶりに春のスポーツフェスタを実施します。子供たちにこの行事を通して学んで欲しい点の一つに右記のような内容があります。

孫子の兵法の中に次のような言葉があります。
「夫れ呉人と越人の相い悪むや、其の船を同じくして済りて風に遇うにあたりては、その相い救うや左右の手の如し」

これは有名な「呉越同舟」という四字熟語になっている一節です。仲のあまり良くない同士でも、共通の利害や目的があれば協力し合え仲良くできるという意味です。

かつてテレビ番組で「小学生クラス対抗三十人三

脚」が行われていました。通常の二人三脚ですと足の遅い子とはなかなか組む人はいません。ところが三十人三十一脚ですとクラス対応ですから足の速い子だらうと遅い子だらうがほとんどの子が参加しなければなりません。すると不思議なことにチームのスピードをあげるためにどうやって遅い子のカバをしよるかということに皆が夢中になり、みんなの気持ちが一気に前向きになります。私自身も表現運動の際、上手く踊れない子に、早くマスターした子供が一生懸命教えている場面を数多く見えました。集団スポーツを行っている子供たちもきつと同じような経験をしたことがあると思います。また、保護者の皆さんも中学校の「合唱コンクール」で同じような経験をされたことと思います。課題曲が決まっても歌の嫌いな子は練習に出てこないなど最初の頃はまとまらないのがほとんどですが、時間とともに徐々に結束が強まり、本番が終了すると皆が感極まり涙を流す光景が見られます。それを鑑賞した保護者も同時に同じ気持ちになり、この行事の素晴らしさを確認することができま

す。

本校は、子供たちの豊かな心を育てることを目指しています。今回、学年全体が共通の目的に向かって力を合わせよりよいものを創り上げることを目指しています。短距離走においても互いに励まし合ったり、応援し合ったりする中で学年としての結束が高まっていくことを目指しています。

ぜひ、保護者の皆様も我が子だけでなく、子供たちががんばっている姿に大きな拍手と励ましの言葉を贈ってくださいますようお願いいたします。

よい返事と豊かな心

例えば、「平和な社会」とは、どのような状態かと問われ、答えに窮したとしましょう。

そのような場合は、一旦「平和ではない社会」を想像してみます。暴力が放置される。自由に経済活動ができない。

これらと逆の社会が「平和な社会」となります。暴力が放置されない。教育が受けられる。自由に経済活動ができる。定義が不明瞭な場合は、逆をいくと本質が見えてきます。

ならば、「よい返事」とは、どのような状態なのでしょう。逆をいけば本質が見えてきます。

「返事ができない子」を考えてみるとよいでしょう。目を合わせない。生返事ながら返事。

これらと逆の返事が「よい返事」と言えるでしょう。目を合わせる。意思を感じる。手を止めて返事をする。

これらの「よい返事」は、「豊かな心」と親和性が高いといえるでしょう。

ご家庭でも、返事の仕方を考えるよいきっかけにしたいだけだと思います。

(生活指導主幹 小清水孝)



港南小学校HP

東京都港区港南4-3-28
TEL3474-1501
FAX3474-1500



港南小学校 Twitter



7月の主な行事予定

- 1日(金) 下校時刻変更・基礎なし
 2日(土) 土曜授業日
 5日(火) 下校時刻変更・基礎なし、個人面談③
 6日(水) 下校時刻変更・基礎なし、
 避難訓練 10:00~
 7日(木) 下校時刻変更・基礎なし、個人面談④
 8日(金) 下校時刻変更、クラブ
 11日(月) 下校時刻変更・基礎なし、個人面談⑤
 12日(火) 下校時刻変更・基礎なし、個人面談⑥
 14日(木) 下校時刻変更・基礎なし、個人面談⑦
 15日(金) 下校時刻変更・基礎なし、個人面談⑧
 19日(火) 下校時刻変更・基礎なし、個人面談⑨
 給食終了
 20日(火) 土曜授業時程
 24日(土) クリーン作戦

副校長より

挨拶

今年度、港南小学校では、子供たちに、「あいさつ・返事・後始末をしよう」と指導しています。教職員もこの三つを合言葉に日々、教室でも指導をしています。繰り返し指導をしている成果が表れています。特に挨拶は、校門や校舎内でも元気に挨拶をする児童が増えてきました。中でも高学年は、授業を行っている教室の前では、大きな声で挨拶ができないので、会釈をして挨拶

を交わす児童も増えてきました。挨拶は生活の基本です。一日一日、笑顔で充実した日々が過ごせるように指導してまいります。ご家庭でもご指導していただき、よろしく願っています。

【お願い】5月の学校だよりでもお知らせしましたが、欠席連絡は、タブレットのまなびポケットに送信していただくよう、よろしく願っています。

(副校長 久道 泰司)

平 裕子



6月の行事予定

1日	水	ふれあい月間始、食育月間始、 スポーツフェスタ(児童鑑賞日) 下校時刻変更
2日	木	スポーツフェスタ通し練習
3日	金	全学年5時間授業下校時刻変更
4日	土	スポーツフェスタ(保護者鑑賞日)
5日	日	スポーツフェスタ延期日
6日	月	振替休業日
7日	火	脊柱そくわん検診(5年)
8日	水	
9日	木	歯科検診(1年・2年) 移動教室説明会(わかば・6年)
10日	金	校外学習(6年生)[TGG]
11日	土	
12日	日	
13日	月	もぐもぐチャレンジウィークI始
14日	火	避難訓練 10:05~(Jアラート)
15日	水	下校時刻変更 基礎なし
16日	木	体力調査日(3年・6年) 歯科検診(わかば・4年)
17日	金	もぐもぐチャレンジウィークI終 体力調査日(1年・5年)
18日	土	
19日	日	
20日	月	水泳授業始、体力調査日(2年・4年)
21日	火	社会科見学(3年・1組2組3組)
22日	水	下校時刻変更 基礎なし
23日	木	社会科見学(3年・4組5組6組)
24日	金	げんきアップタイム・フレンドリータイム
25日	土	クリーン作戦、遊び場開放(午後)
26日	日	
27日	月	社会科見学(4年・3組4組5組6組) 個人面談①
28日	火	夏季学園説明会(5年)<体育館>15:00~ 社会科見学(4年・1組2組)
29日	水	交通安全教室(3年) 下校時刻変更 基礎なし
30日	木	下校時刻変更、ふれあい月間終 食育月間終、個人面談②

※新型コロナウイルスの状況により予定が変更になる場合があります。

	わかば	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
児童数(人)	35	227	211	208	220	222	233	1356



四年生より

四月に、「どんな四年生になりたいですか」というアンケートを取りました。子供たちから多く出たのは、「下級生のお手本になりたい」「勉強を頑張りたい」「下級生や友達に優しくしたい」「友達を思いやりたい」ということでした。その子供たちの思いと担任六人の思いを合わせてできた学年目標は、『4 For Everybody』です。四には「昨年度の学年目標の『3・SUN・パワーみんなでチャレンジ!』の三つの力である①なかよくする力②聴く力③チャレンジする力に加えて、四つ目の「助け合う力」が含まれています。

三年生のときから、友達を思いやり、助け合うことが自然にできる子供が多いですが、高学年になって下学年にも優しく、日頃からお世話になっていいる地域の方々を少しでも助けるような力を育てていけたらよいと思っています。まずは学級、学年から始まり、低学年・高学年そしてこの港南の地域へ助け合いの輪をどんどん広げていきたいと思っています。保護者の皆様、地域の皆様にもお力添えをいただけますと幸いです。

そして、日々の学校生活でもそうですが、子供たちを大きく成長させるのが行事です。六月は、スポーツフェスタや社会科見学などの行事があります。スポーツフェスタの表現種目では、旗を使って踊ります。ご覧いただく皆様には、旗を振る音の迫力や、一体感を楽しんでいただけると嬉しく思います。

子供たち一人一人が四つの力を高められるように、二百二十名の子供たちと、担任六名全員が助け合って頑張ります。

(四年四組担任 坂口千尋)



特別支援教育

コーディネーターより

発達について気になる児童を対象に、生活面や学習面での困難を克服・改善するための指導を行うために、本校において通級指導を行う特別支援教室(わくわく教室)を開室しております。また、通常の学級の教室内での一斉指導において、苦手な部分を補うために、個別的な支援を行うために学習支援員を配置しているところです。

現在、これらの支援を受けておらず、学期以降特別支援教室の通室あるいは、学習支援員の配置を希望される保護者の方は**六月三十日(木)まで**に、担任、特別支援コーディネーター、または副校長に御相談ください。

(特別支援コーディネーター)



ボードゲームクラブ

ボードゲームクラブは、六年生十名、五年生十一名、四年生六名、合計二十七名で活動しています。

「強いな」「次は勝つぞ」「やった」「残念。負けた」「次の手はどうしようかな」と、勝ち負けに一喜一憂したり、教え合ったりしながら、皆で仲良く活動しています。

四・五月のクラブ活動では、はさみ将棋やオセロ、ダイヤモンドゲームなどを行いました。初めて体験するゲームもあり、どのようにしたら勝てるかなと作戦を立てながら取り組んでいました。

今後は、様々なボードゲームをトーナメント形式で行うことを通して、子供たちが学年を超えて楽しく活動できるようにしていきたいと思っています。
(ボードゲームクラブ担当 栗田 純)

クラブ紹介

パソコンクラブ

今年度は、四年生十五人、五年生五人、六年生十人の計三十人でスタートしました。昨年度と違い、少ない人数になったので、自分のタブレットのほかに、ノートパソコンを使って活動をしています。
Teamsで配布された資料をみて、ノートパソコンで作品を作る作業をする姿は、パソコンクラブならではの光景になりました。

また、異学年交流に力を入れて、五つのグループで作業を行っています。上の学年が下の学年を教えたり、下の学年が上の学年に聞いたりできる環境で、自分のスキルも相手のスキルもアップできるように活動しています。

今年度も Pepper を動かすプログラミングや、プレゼンテーションアプリの応用も行う予定です。情報社会で役立てる知識も培えるように活動していけたらと思います。

(パソコンクラブ担当 寺嶋 古都絵)

料理研究クラブ

料理研究クラブは六年生十一人、五年生十人、四年生十人で活動しています。第一回のクラブ活動で何を作りたいかをみんなで話し合い、「フルーツポンチ」を作ることにしました。フルーツポンチの中に入れる白玉も作り方をしっかりと確認しながら作ることができました。六年生が全体をリードしてくれるおかげでスムーズかつ四、五年生も楽しく活動しています。

今後も異学年同士、協力して活動できるクラブになるよう指導していきます。



(料理研究クラブ担当 中野沙織)

レクリエーションスポーツクラブ

レクリエーションスポーツクラブでは、六年生十四人、五年生十五人、四年生十一人、合計四十人で活動しています。初回の活動では、一年間の予定を決めました。「寒いからおにごっこをしたい」「暖かい時期だからボールを使った活動をしたい」など充実した話し合いをしました。活動時間では、様々な種類のおにごっこや、ドッジボールなどに取り組みました。上級生が中心となり、ルールを工夫することで、下級生も一緒に楽しく運動することができ、笑顔が溢れました。学年の壁を越え、みんなで協力して活動しています。

今後は、上級生だけでなく、下級生も意見を出して、全員が主体的に活動に取り組んでいけるよう指導していきます。

(レクリエーションスポーツクラブ担当 萩原和哉)

離任式

五月六日(金)に離任式を行いました。今年度も感染症対策のため、リモートでの開催となり、各教室で式に臨みました。

十一名の先生にお越しいただき、港南小学校での思い出や異動した学校の様子についてお話を聞きました。子供たちは、お世話になった先生の姿が映ると嬉しそうに画面に見入っていました。離任式の後にはグラウンドで、特に関わりが多かった先生と最後の挨拶を交わしました。久しぶりに先生方に会えて、嬉しそうな表情がいっぱいの離任式になりました。

(離任式担当 渡辺 真理)

委員長任命式

四月二十一日(木)に、委員長任命式を行いました。今年度は感染症対策のため、各学級では式の様子を撮影した動画を見ました。

式では全委員会の委員長が紹介され、一人ずつ校長先生から任命状を受け取りました。最高学年としての自覚をもち、一人一人が真剣な表情で式に臨むことができました。港南小学校の大切な役割を担う委員会について全校児童に知ってもらうとともに、子供たちのやる気と自信につながる任命式となりました。

これから一年間、進んで活動に参画し、様々な場で自分の力を発揮してもらいたいと思います。

(特別活動部 徳永 和希)